

青山学院大学の講座運営を今年も支援します

平成24年4月23日

一般財団法人日本不動産研究所

青山学院大学では、平成22年4月より、総合文化政策学部に設けられた「都市・国際文化コース」の「エリア文化論(担当：井口典夫教授)」の新講座をスタートさせ、当研究所が講座運営のお手伝いを行ってきましたが、3年目の今年度も継続して支援することになりました。担当は、最初から関わっている小林特定事業部長です。

青山学院大学のエリア文化論は、「エリア情報を得て、プロジェクトを立案し、それを実現させることができる人材を育成する」ことを目指しており、卒業後の進路として不動産や金融分野などを志望する学生を想定し、第一戦で活躍する実務家をゲスト講師として招き、その知見に学生が直接触れることができる機会を提供することをコンセプトとしております。

昨年は、総合文化政策学部の2年生・3年生・4年生から同講座を選択した40名の学生を対象に講義を行いました。前期は、プロジェクトの立案・実施に必要な事業開発手法・ファイナンス、景観デザイン・空間デザイン等に関する基礎的な講座が中心で、後期は、東京ミッドタウンや六本木ヒルズなどの実際のプロジェクトについての事例研究や現地視察を通じてより実践的な講座が中心でした。

学生からは、「実務的な講義と視察を中心とする内容で、教室では体験できないことが多く、楽しく、かつ役に立つ授業」と大変好評だったことから、今年度も継続することになりましたが、受講学生数が昨年度の3倍を超える130名となりました。

今年度は、井口先生の意向もあって“文化的内容”が約半分を占め、こちらのコーディネートをイベントプロデューサーで青山学院大学社会学連携研究センターの山本哲氏が担当することになりました。別紙シラバス黄色部分が当研究所コーディネート分。

当研究所としては、公益法人でもあり、昨年度と同様、今後もこのようなアカデミックな活動にも、講師派遣も含めて積極的に協力していきたいと考えています。

平成24年度 エリア文化論 シラバス

	講義日程	講義テーマ	講 師
前 期	4月10日	1 前期ガイダンス	井口典夫教授
	4月17日	2 まちのマーケティング	福田博(縄文文化コミュニケーション)
	4月24日	3 3C(Cuture,Community,Commerce)連携	松宮宏(ワールド)
	5月1日	4 場と偶有性	後藤寿和(gift.lab)
	5月8日	5 グラフィックファンリテーション	井口奈保(Tedxtokyo yz)
	5月15日	6 東京トレジャーボックス	スティルウォーター
	5月22日	7 ナチュラルアロマ	塚田有一(グリーンデザイナー)
	5月29日	8 サウンドスケープ	後藤寿和(gift.lab)
	6月5日	9 空間デザイン(音響)	霜田英磨(音響計画)
	6月12日	10 渋谷・青山の街と文化(「浜野安宏／UMUI／想いの実現」)	浜野安宏(浜野総合研究所)
	6月19日	11 空間デザイン(色彩)	杉山朗子(日本カラーデザイン研究所)
	6月26日	12 都市はどう創られるのか	福本泰(日本不動産研究所)
	7月3日	13 人生をアートする	井口奈保(Tedxtokyo yz)
	7月10日	14 前期の総括とテスト	井口典夫教授

	講義日程	講義テーマ	講 師(ゲストスピーカー)
後 期	9月25日	1 後期ガイダンス	井口典夫教授
	10月2日	2 ケーススタディ(問題提起)	兼松佳宏(greenz. Jp 編集長)
	10月9日	3 その時その場で生まれるもの	スティルウォーター
	10月16日	4 イベント(デザインタイド+vogue night)	松宮宏(ワールド)
	10月23日	5 環境・都市デザイン	杉浦栄(エス・ツー・デザインアンドプランニング)
	10月30日	6 コマーシャルに見るエリア文化	田嶋直子(博報堂プロダクツ)
	11月6日	7 現地視察①・渋谷ヒカリエ	岩井卓也(東急電鉄)
	11月13日	8 空間デザイン(照明)	内木宏志(ナイキデザイン事務所)
	11月20日	9 原宿の街と文化	久世義昭(久世産業)
	11月27日	10 現地視察②・六本木ヒルズ	藤巻慎一(森ビル)
	12月4日	11 大手町・丸の内・有楽町の街と文化	細包憲志(三菱地所)
	12月11日	12 現地視察③・東京ミッドタウン	山本隆志(三井不動産)
	12月18日	13 ケーススタディ(まとめ)	兼松佳宏(greenz. Jp 編集長)
	1月8日	14 後期の総括とテスト	井口典夫教授